

I 事業報告（総括）

令和6年度を振り返ると、不安定な国際情勢によるエネルギー価格の高騰や2024問題等による人手不足など厳しい経済環境が継続した1年でした。

こうした中、産業廃棄物処理業界に大きく関わる再資源化事業等高度化法が5月に公布されました。国策として資源循環が進められる中、この法律の内容を正しく理解するため11月に研修会を開催しました。廃棄物処分業者の役割が期待される一方、業界の中小・零細企業の底上げを図る具体的な方策が見えなかったことから、法律の施行に向け九州地域協議会や全産連の一員として国に対し意見を述べて参りました。引き続き動向を注視して参ります。

自然災害について熊本県では大きな被害はありませんでしたが、日頃の「備え」として各支部で市町村との意見交換や仮置場の現地確認作業を確実に行っていただきました。本部では「指定地方公共機関」として県防災会議に出席し意見を述べるとともに、10月の災害廃棄物処理図上演習（熊本県主催）には多くの役員等が参加しました。引き続き積極的に関わって参ります。

業界の課題である労働災害の防止に関しては、本部はじめ各支部において労働安全衛生に関する研修会等を開催したところです。

また、地域の環境保全と循環型社会の構築に向けて、産業廃棄物の適正処理はもとより、支部事業として多くの会員が不法投棄防止パトロールや撤去作業に精力的に参加されました。青年部会では9小学校で環境出前講座を行い、約600名の児童にゴミの現状や3Rの大切さを伝えていただきました。

いずれも協会の主要な社会貢献事業であります。引き続きご協力をお願いします。

その他、年3回発行の会報誌「スマイル」やメール等を通じて、様々な行政情報を会員の皆様にお伝えして参りました。

本協会が実施するこうした事業は、会員皆様の御理解と御協力の上に成り立っています。また、多くの関係者の方々に信頼され、期待されています。

以上を踏まえ、令和6年度の事業実績を報告します。

II 令和6年度事業実績報告

令和6年4月1日～令和7年3月31日

1 会員現況 (令和7年3月31日現在)

正会員 391名
賛助会員 38名
総会員数 429名

2 実施事業等会計

1 社会貢献事業

- (1) 熊本県廃棄物不法投棄対策連絡会議への出席 (10月9日)
場 所：熊本県庁
出席者：県警生活環境課、組織犯罪対策課、県循環社会推進課、熊本・三池海上保安部、熊本市事業ごみ対策課、環境省九州地方環境事務所、熊本県産業資源循環協会
- (2) ホームページによる情報提供
関係法令の改正内容に関する情報や協会への問合せが多い処理困難物(バッテリー、水銀等)の廃棄物処理の可否について会員(中間処理業者)へ行った調査結果をホームページ上に公開した。
- (3) 青年部会、女性部会 青年部協議会九州ブロック九州一斉清掃 (6月8日)
九州8県の青年部会で地域貢献として、それぞれの地域で一斉清掃を実施した。
また、本県は女性部会にも参加を募り合同で清掃を行った。
参加者：青年部会23名、女性部会11名、その他2名 於：水前寺成趣園(熊本市)
- (4) 支部主催の献血活動
支部の社会貢献事業として、以下の支部で献血活動を実施した。
城北支部 参加者 32名 (4月18日)
城北支部 参加者 37名 (10月23日)
宇城支部 参加者 43名 (8月6日)

2 災害廃棄物支援事業

- (1) 災害廃棄物対策検討委員会の開催 (6月7日)
 - ア 目的
令和2年7月豪雨までの災害を通して発生した課題を抽出。その課題への対策を検討し次の災害に備えた。
 - イ 成果
 - ①災害廃棄物処理支援行動マニュアルの作成
 - ②出水期に向けた市町村への注意喚起

(2) 災害廃棄物マニュアルの作成

ア 災害廃棄物仮置場マニュアルの作成

支部管轄市町村と災害対策について情報交換・打合せを行い、平常時からの災害対策について連携を強化するため災害廃棄物仮置場マニュアルを作成した。

イ 災害廃棄物処理支援行動マニュアルの作成

市町村からの災害廃棄物処理支援要請に基づく会員企業の支援体制を把握するため調査を実施し、各支部の災害廃棄物処理支援行動マニュアルを作成した。

(3) 国との連携

ぼうさいこくたい2024in熊本への出展

防災に取り組む400以上の団体・機関が出展し、その取組み・知見を発信・共有する日本最大級の防災イベント。

① 期日 10月19日(土)、10月20日(日)

② 場所 熊本城ホール 花畑広場 他

③ 主催 内閣府等

④ 出展内容 当協会事業及び災害廃棄物処理支援活動(H28熊本地震、R2年7月豪雨)の様子をパネル、映像で紹介

(4) 熊本県との連携

ア 熊本県防災会議への参画(5月16日)

本協会が令和5年1月13日付災害対策基本法第2条第6号の規定による指定地方公共機関に指定され、熊本県が実施する熊本県防災会議へ出席した。

イ 熊本県災害廃棄物処理図上演習への参画(10月8日)【熊本県主催】

集中豪雨による水害が発生し、県内全域で被害が発生したことを想定し、河川氾濫による浸水や土砂崩れにより、大量に発生した災害廃棄物やし尿の処理、仮置場の設置運営等、主に初動期(発災～2週間程度)の演習が実施された。

参加者：熊本県、市町村、一部事務組合、広域連合の災害廃棄物担当者

災害廃棄物処理支援協定締結団体：熊本県産業資源循環協会、解体工事業協会、環境事業団体連合会、清掃事業協同組合

ウ 災害廃棄物対策に関する意見交換及び仮置場候補地の現地視察【熊本県主催】

熊本県内の市町村廃棄物処理計画の実行性、協力体制を構築するため、当協会員も参加し意見交換を実施した。

時期 令和6年7月～令和7年1月

参加者 市町村(令和6年度10市町村対象)、熊本県、協会支部役員

(5) 市町村との連携

ア 市町村の会議への出席

各支部において、市町村が行う防災会議等へ出席し、災害廃棄物処理についての情報交換を行うとともに、市町村が策定する災害廃棄物処理計画に対する意見を述べた。

また、各市町村に担当支部の災害廃棄物処理支援行動マニュアルを送付し連携に努めた。

イ 支部管轄市町村の災害廃棄物仮置場設置状況等の確認

令和2年7月豪雨までの災害の実態を踏まえ、市町村が設置している仮置場について、災害対策検討委員会で課題を抽出した。この課題に対して支部は、管轄市町村が設置している仮置場を地確認し、災害時に支障を来たさないよう設置に関して助言した。

3 熊本環境保全推進支援金事業

(1) 会議の開催

支援金運営委員会3回（7月5日、10月22日、2月25日）

(2) 不法投棄対策事業

ア 本部事業

○不法投棄防止対策のための合同調査（1月27日～2月7日）

関係機関による陸及び海での調査

参加者：海上保安部、熊本県内各市町村、熊本県（循環社会推進課および各保健所）

熊本県産業資源循環協会

本協会は車による陸上パトロールを実施（1月30日）

イ 支部事業

①各地域不法投棄連絡会議への出席

②各支部不法投棄パトロール、撤去事業等の実施

	支部	期日	事業内容	実施場所
1	荒玉	11月25日	熊本県廃棄物不法投棄対策連絡会議玉名荒尾地方連絡会議	有明保健所
		1月23日	不法投棄パトロール	小岱山付近
		2月20日	不法投棄合同撤去作業	小岱山
2	城北	5月31日	不法投棄撤去作業	阿蘇市黒川地区
		12月10日	菊池地域廃棄物不法投棄対策連絡会議	菊池保健所
		12月17日	鹿本地域廃棄物不法投棄対策連絡会議	鹿本地域振興局
		1月24日	阿蘇地域不法投棄対策連絡会議	阿蘇地域振興局
3	熊本市	1月14日	不法投棄パトロール	西区松尾町パイロット道路付近
		3月12日	不法投棄撤去作業	熊本市中心市街地
4	宇城	12月6日	宇城上益城廃棄物不法投棄連絡会議	上益城振興局
		2月12日	不法投棄パトロール	御船保健所管内、宇城保健所管内
5	南部	7月17日	津奈木町不法投棄撤去作業	津奈木町管内
		11月13日	八代地域不法投棄防止等合同パトロール	八代管内
		11月26日	熊本県人吉・球磨地域廃棄物不法投棄対策連絡会議	球磨地域振興局寺町別館
		12月18日	水俣芦北地域不法投棄対策地方連絡会議	水俣保健所
6	天草	12月10日	天草地方廃棄物不法投棄等対策連絡会議	天草広域本部

6	天草	1月10日	不法投棄撤去作業場所現地確認	有明町須子地区
		1月15日	天草保健所 不法投棄撤去作業等打合せ	天草保健所
		2月4日	不法投棄パトロール	有明町須子地区
		2月27日	不法投棄撤去作業	有明町須子地区

(3) 環境教育事業

青年部会が実施する小学校第4学年を対象とした「環境出前講座」は、今までの大量消費・大量廃棄型のライフスタイルの見直しや、不法投棄撲滅のためには小学校在校時から3R事業及び廃棄物処理に関する「環境教育」を行うことが重要と考え、平成25年度から開始した。

平成28年度から熊本県義務教育課の熊本県環境学習プログラムとして、熊本県内の小学校社会科学習に導入されており、子ども達自らが考え、環境保全に繋がるためにはどのように行動しなければならないのかを引き出す内容で授業を行った。

	支部	期日	実施場所	対象数	
1	城北	6月24日	大津町立護川小学校	27名	1クラス
2	熊本市	7月3日	熊本市立一新小学校	60名	2クラス
3	城北	7月16日	菊陽町立武蔵ヶ丘北小学校	88名	3クラス
4	荒玉	9月5日	長洲町立長洲小学校	42名	2クラス
5	宇城	9月10日	宇土市立緑川小学校	14名	1クラス
6	熊本市	10月4日	熊本市立田迎南小学校	140名	4クラス
7	熊本市	10月9日	熊本市立帯山小学校	138名	4クラス
8	城北	10月22日	菊池市立隈府小学校	74名	2クラス
9	宇城	11月25日	美里町立中央小学校	25名	1クラス
令和6年度の環境出前講座における受講児童数				608名	20クラス

3 その他会計

1 組織活性化会員支援事業

(1) 会議の開催

- ア 定時社員総会 6月7日：熊本ホテルキャッスル
- イ 新年賀詞交歓会 1月10日：ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ
- ウ 理事会 7回（基本2ヶ月に1回開催）
- エ 三役会議（執行部会議） 11回（基本毎月開催）
- オ 監査会 1回（4月23日）
- カ 各専門会議（委員会、部会）

委員会・部会	開催	期日					
		委員会	委員会				
表彰推薦・懲罰委員会	2回	委員会 11/22	委員会 3/21				
安全衛生促進委員会	1回	委員会 4/23					
収集運搬部会	7回	監査会 4/25	総会 5/16	正副 6/28	視察研修 10/3~5	役員会 12/12	研修会 12/12

収集運搬部会		正副 3/4					
中間処理・リサイクル部会	2回	監査会 4/4	総会 5/20				
最終処分部会	3回	監査会 4/8	総会 5/10	部会 12/23			
医療廃棄物部会	9回	監査会 4/5	総会 5/24	正副 8/1	正副 9/25	部会 10/17	チラシ打 合せ 11/6
		部会 11/12	医療機関への協力 依頼 11/29、12/3		視察研修 1/16～17		
建設廃棄物部会	5回	監査会 4/17	総会 5/9	正副 7/23	部会 8/28	視察研修 11/7～8	
青年部会	14回	監査会 4/23	役員会 4/23	部会 5/11	総会 5/11	正副 5/27	役員会 8/23
		部会 8/23	正副 9/24	役員会 11/16	部会 11/16	研修会 1/9	役員会 1/10
		役員会 2/21	部会 2/21				
女性部会	3回	監査会 5/7	総会 5/21	役員会 3/5			

(2) 支部事業

各支部で幹事会、支部総会、研修等を通じて組織活性化などに努めた。

支部	期日	各種事業
荒玉	4月 1日	第1回幹事会
	4月26日	支部通常総会
	7月17日	第2回幹事会
	8月23日	第3回幹事会
	12月 3日	第4回幹事会
	12月11日	ゴルフコンペ
	1月21日	第5回幹事会
	3月27日	第6回幹事会
城北	4月18日	第1回幹事会
	4月18日	支部通常総会
	6月13日	第2回幹事会
	12月17日	第3回幹事会
	2月16日～18日	視察研修
	3月25日	第4回幹事会
熊本市	4月17日	第1回幹事会
	4月17日	支部通常総会
	6月26日	第2回幹事会

熊本市	9月17日	第3回幹事会
	11月2日～3日	視察研修
	11月21日	ゴルフコンペ
	11月21日	ボウリング大会
	12月19日	第4回幹事会
	2月21日	第5回幹事会
宇城	4月25日	支部通常総会
	6月21日	第1回幹事会
	8月26日	第2回幹事会
	11月29日	第3回幹事会
	1月16日	第4回幹事会
	1月23日～25日	宇城・天草支部視察研修
	3月31日	第5回幹事会
南部	4月19日	第1回幹事会
	4月19日	支部通常総会
	5月16日	第2回幹事会
	7月 2日	第3回幹事会
	8月2日～3日	視察研修
	8月27日	第4回幹事会
	12月12日	第5回幹事会
	1月28日	第6回幹事会
天草	4月11日	第1回幹事会
	4月24日	支部通常総会
	5月20日	第2回幹事会
	9月 6日	第3回幹事会
	1月23日～25日	宇城・天草支部視察研修
	1月29日	第4回幹事会

(3) 廃棄物処理への対応

ア 廃棄物処理法等の改正に伴い、会報誌「くまもとさんばい（スマイル）」やホームページ、メール、研修会等により周知を行った。

イ 「資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律」に関する研修会の開催

この法律は、脱炭素化と再生資源の質と量の確保等の資源循環の取組みを一体的に促進するため令和6年5月29日に公布された。

廃棄物処分業者の役割が期待される一方、再資源化事業の高度化において大手メーカー等の参入が見込まれ、当業界の中小・零細企業が淘汰されるのではないかと様々な懸念が生じていたことから、まず協会員が法律の内容を正しく理解し、自社事業の今後の在り方について検討する一助となるよう研修会を実施した。

期 日 11月6日

場 所 くまもと県民交流館パレア

講 師 環境省九州地方環境事務所 資源循環課長 和家 秀格氏

受講者 約150名（九州各県協会約30名含む）

ウ 令和7年新年賀詞交歓会記念講演会

期 日 1月10日

場 所 ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ

講 演 演題 2025年世界経済と日本経済の現状と展望

講師 森永 康平氏 (株)マネネ CEO・経済アナリスト)

受講者 約130名

(4) 表彰等事業

ア 環境省

令和6年度循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰 (11月15日)

表彰名	会員名	受賞者
環境大臣表彰	津留建設(株)	津留 克也

イ 熊本県

令和6年度熊本県環境整備功労者知事表彰 (2月14日)

分野	会員名	受賞者
産業廃棄物処理関係	(有)陶山興産	忒西 竜也
	(株)藤本建設工業	藤本 憲成
	(有)宇土環境	安達 英知

ウ 令和6度 (公社) 全国産業資源循環連合会会長表彰 (6月5日)

	表彰名	会員名	受賞者
1	功労者表彰	(株)東光物産	米田 眞也
2	地方功労者表彰	熊本新明産業(株)	萩原 幸夫
3	優良従事者表彰	アクアテクニカル(株)	田村 英信
		九州産廃(株)	持永 義孝
		有価物回収協業組合石坂グループ	辻崎 英樹
		(株)熊本市リサイクル事業センター	米本 祐也
		(有)プログレ	岩田 敏明
		(株)津田	田村 勇喜
		(株)アセフト	本田 健二

	表彰名	受賞事業所	所属支部
4	地方優良事業所表彰	(株)双葉運輸	荒玉支部
		(株)田村建装工業	城北支部
		(株)エコポート九州	熊本市支部
		(有)旭清掃社	熊本市支部
		河津造園(株)	宇城支部
		(株)八代美研	南部支部
		(株)成和開発	天草支部

エ 令和6度 (一社) 熊本県産業資源循環協会会長表彰 (6月7日)

	表彰名	会員名	受賞者
1	功労者表彰	(有)オー・エス収集センター	野原 雅浩

2	地方功労者表彰	(株)グリーンロジスティクス	岩崎 浩
3	優良従事者表彰	(株)マルコ建設	吉田 英輝
		(株)東光物産	米田 真寿
		(株)中山商店	中山 大輔
		(福)環友會	西原 忠雄
		(有)プログレ	緒方 徳弘
		(株)青木運輸	木村 謙二
		(株)豊建設	山崎 裕

	表彰名	受賞事業所	所属支部
4	地方優良事業所表彰	(株)大晶	城北支部
		(有)更正企業	熊本市支部
		(福)環友會	熊本市支部
		日本フォレスト(株)熊本工場	宇城支部
		(株)谷智金属工業	南部支部
		(株)天草・リサイクルセンター	天草支部

オ 感謝状受賞者（6月7日）

表彰名	会員名	受賞者
長期役員在任者	(株)東光物産	米田 眞也
	(有)誠商店	追立 武

(5) 会員向けサービス・支援の実施

- ア 熊本県との「災害時における廃棄物の処理等の支援活動に関する協定」締結に伴う熊本県工事入札参加者資格審査に必要な書類の交付 交付実績： 65件
- イ 熊本市との「災害時応急活動に関する協定」締結に伴う熊本市建設工事総合評価方式に必要な書類の交付 交付実績： 54件
- ウ 協会員章（門札タイプ）の作製配付

(6) 組織の拡充

- 支部との連携による新規入会の勧誘
令和6年度実績：正会員7者加入
正会員内訳：収集運搬4者、中間処理3者

(7) 会員支援及び福利厚生事業

- 会員管理データベースの拡充を行うとともに、地元スポーツクラブチケット配布、支部事業等による福利厚生事業を行った。
- ア 地元サッカーJ2リーグ「ロアッソ熊本」（会員配付）
2024シーズン公式戦観戦チケット
- イ 地元バスケットB2リーグ「熊本ヴォルターズ」（会員配付）
2024-25シーズン公式戦観戦割引チケット

(8) 廃棄物の適正処理に係る講習会・研修会の開催

ア 全国産業資源循環連合会と共催で産業廃棄物処理実務者研修会を開催（10月24日）

産業廃棄物を取扱う方々の実務に必要な委託契約、マニフェスト、帳簿等の産業廃棄物に関する基礎知識を学び、初心者から経験者まで、多くの方々に知識の習得、再確認することを目的として開催。

なお、この研修は（一社）全国土木施工管理技士会の継続学習制度（CPDS）の登録研修としても実施した。

イ 優良産廃処理業者認定制度の普及促進

① 「環境配慮の取組（エコアクション21）」の説明会（6/6）

② 2024年度自治体イニシアティブ・プログラム（5回：7/3・11、7/24・26、8/21、9/11・18、1/9・27）

優良産廃処理業者認定制度は、廃棄物処理の透明性や排出事業者が優良な処理業者を選択しやすい環境の整備につながるもの。この認定基準の一つである環境配慮の取組（エコアクション21の認証取得）を支援することにより産業廃棄物の適正処理を更に推進するため、熊本県・熊本市と共同で実施した。

(9) 後継者・若手経営者等の養成

熊本県中小企業団体中央会青年部協議会開催の「若手経営者育成研修会」等の周知、取り纏めを行うなどにより若手経営者等の養成に努めた。

(10) 労働安全衛生に関する講習会、研修会の開催等

ア 本部

① 6月7日（定時社員総会時）

・演題 労働災害発生のしくみと対策について

講師 中央労働災害防止協会 九州安全衛生サービスセンター
安全管理士 能田 清隆 氏

・演題 協会労働災害防止計画の進捗状況について

講師 協会事務局

② 安全衛生活動の調査

令和5年4月に令和5年～令和7年度の労働災害防止計画を策定し、令和9年の最終目標達成に向け3つの重点実施事項を含む11の活動目標を掲げて労働災害の防止に取り組んでいる。この取り組みの実態を把握するために会員へのアンケートを実施した。

イ 支部

支部	実施日
荒玉	9月 9日
城北	4月18日
	9月27日
熊本市	4月17日
宇城	4月25日
南部	4月19日

① 研修項目

- ・労働安全対策、労働災害防止について
- ・近年の大規模災害における対応について
- ・ツールの使用による安全衛生規程の作成について
- ・一次救命処置 他

② 講師 熊本労働局、労働基準監督署、協会

天 草	6月21日
宇 城	10月18日
南 部	
天 草	

(11) 電子マニフェスト普及促進

電子マニフェスト制度に関する周知及び操作方法等に関する問合せ対応

(12) 許可申請講習会の実施

産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会及び特別管理産業廃棄物管理責任者講習会を下記のとおり行った。

ア 新規講習会

項目	開催日	受講者数
産廃の収集・運搬課程	7月19日	141名
特管産廃の収集・運搬課程	2月26日	29名
産廃の処分課程	7月19日	17名
特管産廃の処分課程	2月26日	9名
計		196名

イ 更新講習会

項目	開催日	受講者数
産廃又は特管産廃の収集・運搬課程	7月18日	143名
	2月26日	143名
産廃又は特管産廃の処分課程	7月19日	29名
	11月27日	66名
計		381名

ウ 特別管理産業廃棄物管理責任者

項目	開催日	受講者数
特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会	2月27日	144名
計		144名

(13) 情報の収集及び提供

情報収集及び印刷物の発行事業

ア 情報収集事業

会員や県民からの廃棄物処理等に関する疑義、照会に対して、関係機関のホームページへの誘導や、必要に応じて行政に確認したうえで情報を収集整理し、回答や資料提供を行った。

イ 印刷物の発行事業

- ① 会報誌「くまもとさんばい（スマイル）」 3回（8月、11月、3月）
- ② 会員名簿
- ③ 産業廃棄物処分施設MAP

ウ 協会員への情報提供

- ① 許可期限の通知

更新許可申請の手続きに遅れないよう封書・葉書による通知。

- ② ホームページ、メール、FAX等による情報提供
(公社) 全国産業資源循環連合会、国、県、市から提供される関係法令の改正や要請、業界の情報をタイムリーにかつ的確に提供した。
- ③ 産業廃棄物の処理に関する照会等への対応
産業廃棄物処理の実態や動向及び当協会の事業活動等に関する会員からの照会や相談に対して回答や資料提供等を行った。
- ④ 施設の整備に関する補助金等の情報提供
国や県の産業廃棄物処理施設の整備等に関する補助制度等の情報提供を行った。
- ⑤ 法令・融資・税務に関する照会等への対応
廃棄物処理法や関連法規に関する疑義、照会等に対し、必要に応じて行政に確認したうえで回答・助言を行った。

2 関係機関との連携事業

行政機関、他団体との連携事業

(1) 行政機関との連携

ア 熊本県へ産業廃棄物処理に関する要望書の提出 (8月26日)

要望事項 ①災害廃棄物支援業務に関する事項

- i 災害廃棄物処理に係る自治体間の調整
- ii 委託処理費の支払いに係る改善
- iii 高速道路使用手続きの簡素化

②廃棄物処理設備の変更に伴う許可手続きの簡素化

③産業廃棄物税の見直しに係る効果検証事業結果の開示について

出席者 熊本県環境生活部長、環境局長、循環社会推進課長

協会執行部

回答：10月22日付け熊本県環境生活部長名

イ 産業廃棄物基礎研修会事業 (熊本県業務委託) (8月27日、9月9日)

熊本県からの業務委託により廃棄物処理法の法令遵守を中心とした内容と、産業廃棄物に携わる実務者向けの実践的な内容の両方を盛り込んだ研修を実施した。

対象者：排出事業者、産業廃棄物処理業者 (主に実務経験の浅い担当者向け)

講師：熊本県循環社会推進課、財津専務理事

受講者：八代会場 (8/27) 約180名 熊本会場 (9/9) 約210名

ウ 医療廃棄物処理の事故防止の協力について (11月29日、12月3日)

医療廃棄物部会員からの要望により医療廃棄物処理の事故防止や感染防止のため、熊本県及び熊本市の監修のもと啓発用チラシを作成し、関係団体所属会員へ配布した。

関係団体：熊本県医師会、熊本市医師会、熊本県歯科医師会、熊本市歯科医師会

協会：医療廃棄物部会 (正副部会長)

チラシ作成：1万部/A4 (両面) 監修：熊本県、熊本市

エ 行政機関主催事業

- ① (公財) 熊本県環境整備事業団理事会 2回 (6月4日、6月25日【書面】)
 検討事項：公共関与による最終処分場の整備について
 出席者：協会 野原会長 (公益財団の理事として)
- ② 令和6年度熊本県産業廃棄物排出量抑制支援事業費補助金に係る検討会議及びリサイクル製品認証審査に係る協議 (5月21日、3月13日)
 検討事項：i 熊本県リサイクル認証製品審査
 ii 熊本県産業廃棄物排出量抑制支援事業費補助金
 出席者：協会 石坂副会長、加久専務理事

(2) 他団体との連携

ア 九州地域協議会 (当協会が出席したもの)

	開催	期日				
		会長会議	全体会議	会長会議		
全体会議 (会長会議含む)	3回	福岡 5/14	佐賀 10/18	沖縄 2/28		
事務局会議	2回	佐賀 10/18	沖縄 2/28			
災害廃棄物委員会	2回	佐賀 6/20	沖縄 2/27			
法制度対策委員会	1回	沖縄 9/3				
最終処分部会	2回	熊本 9/27	沖縄 2/3			
中間処理部会	2回	大分 9/2	福岡 2/4			
収集・運搬部会	2回	佐賀 9/13	鹿児島 2/20			
医療部会	2回	佐賀 9/26	沖縄 1/22			
建設廃棄物部会	2回	福岡 9/18	沖縄 2/4			
青年部協議会 九州ブロック	7回	役員会 (熊本) 4/19	役員会 (熊本) 6/8	総会 (熊本) 6/8	役員会 (福岡) 8/21	役員会 (宮崎) 10/28
		役員会 (佐賀) 12/10	役員会 (鹿児島) 2/6			

イ 全国産業資源循環連合会

① (公社) 全国産業資源循環連合会定時総会 (6月14日) 於: 東京

② 全国産業資源循環連合会会議等 (当協会が出席したもの)

	開催	期日				
		(東京)	(東京)	(東京)	(東京)	
理事会	4回	(東京) 5/21	(東京) 7/9	(東京) 10/8	(東京) 3/11	
全国正会員会長会議	1回	(東京) 2/19				
事務局責任者会議	1回	Web 会議 2/4				
最終処分部会関係会議	2回	分科会 (東京) 6/17	分科会 (東京) 12/12			
青年部協議会	11回	幹事会 (東京) 4/10	幹事会 (東京) 5/22	総会 (東京) 6/13	幹事会 (東京) 7/10	幹事会 (愛媛) 8/7
		幹事会 (東京) 9/12	幹事会 (東京) 10/9	幹事会 (岐阜) 11/14	カンファレンス (愛媛) 11/27	幹事会 (東京) 1/9
		幹事会 (東京) 3/12				

3 マニフェスト・ステッカー頒布等事業

(1) 産業廃棄物管理票 (マニフェスト) の頒布

	産廃 マニフェスト	建設 マニフェスト	積替 マニフェスト	計	前年比
令和6年度	531,440 枚	338,000 枚	3,090 枚	872,530 枚	93.5%
令和5年度	608,900 枚	321,800 枚	2,730 枚	933,430 枚	

(2) 産業廃棄物収集・運搬ステッカーの作成

	収集運搬 ステッカー	前年比
令和6年度	87 枚	100%
令和5年度	87 枚	